

2025 年度（後期）数理学習センター事前研修会報告書

後期の授業開始を前に、9月24日（水）と27日（土）に数理学習センターの事前研修会を開催しました。

今学期は、新規チューターとして3学科5名（国際文化学科2名、国際観光産業学科1名、健康情報学科2名）の1年次チューターが加わり、継続チューターを含め15名で活動をするようになりました。

一日目は、新規チューターの採用通知書の贈呈と全員の自己紹介、センター長講話を行い、引き続き数学検定の模擬試験を実施しました。午後はチュータリングロールプレイを行い、チューターの数理能力向上を目指しました。続いて、継続チューターによる学修支援の基本を学ぶプレゼンテーションと後学期の運営体制について話し合いました。新規リーダーから、「業務の丁寧な引継ぎ」が目標として掲げられ、特に気を付けなければならない業務について共有し、全員で計画的に進めることを確認しました。センター長講話では、MSLC の前学期の活動報告書から活動の成果と課題について詳しく説明がありました。MSLC の強みについて、チームワークが良く、「チームで働く力」の自己評価が高いことも示され、チューターがMSLC を大切にしていることや楽しく業務に専念していることがわかりました。課題については、具体的な分析データをもとに報告が行われ、その改善策を検討して、後学期の活動に活かすことになりました。

二日目は、チューター講座による学修支援が、後学期の「健康情報統計 I」の授業連携として計画されているため、チューターの統計の理解度を深めるための研修を行いました。また午後の部では、前期のチュータリングスキルの自己評価及び社会人基礎力の自己診断の集計結果について、チューターによる分析を行いました。さらに、これまでのスライドを表示して、様々な観点から良い点や気を付けるべき点などについてチューターの意見や感想など忌憚のない意見交換を行い、センター長からは後期の目標としてチューターのプレゼンスキルの向上が提案されました。続けて、これまでMSLC で作成したプレゼンのスライドやポスター、写真などを見ながら、評価できる点や改善点についても情報交換を行いました。今期もMSLC の環境を整え、チーム力を活かしたさらなる効果的な学修支援を推進していきます。

皆様のご支援とご協力・ご助言を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以下にチューターの振り返りおよび研修会の発表スライドを紹介いたします。

◆ 事前研修会事後アンケートより

●「センター長講話」について

- ・事前研修を通して、MSLC の強みは「チーム力」にあると実感した。互いに役割を果たし信頼関係を築くことで、TR や学修支援の質が向上する。課題としてはマニュアル整備や新規チューター育成があるが、目的意識を持ちチームで協力することで改善が可能である。研修で学んだことを活かし、学生の学びとチューター自身の成長を両立させたいです。
- ・前期を終えて、継続チューターと新規チューターで、成長したところや評価が下がったところに違いがあることがわかった。
- ・忙しいを言い訳にしない。MSLC で人間力を磨く。学期末報告書の書き方を再確認した。
- ・MSLC のチームワークを大事にして、熱意は磁石なので周りに良い影響を与え合えるようになりたいと思った。
- ・コミュニケーションでチーム力を高めるのが大切であるということがわかった。少しずついいから自分から話しかけるようにしたい
- ・チューターとしての活動だけを頑張るのではなく自分の専攻している科目の資格の勉強も欠かせない。

●チューターによるプレゼン①「MSLC について、チューターとは」（田浦和珠）

- ・優しさ、笑顔、努力を大事にする基本理念を振り返り、チューターに求められる姿勢について再確認できた。
- ・今まで、何となく理解していた業務内容やしぐみの意義、目的、方法などを詳しく知ることが出来た。7対3の精神のうち、コミュニケーションは、聞くが7、話すのが3になるといいとあったが、話す割合が多くなりがちなので気をつけて行きたいと思った。
- ・MSLC という場所がどのような役割をもつのかやチューターとしてどのようなことをしていくのかを再確認することができた。
- ・話し合いやすい雰囲気をつくるのが大切。ピアチュータリングでは学生とともにチューターも学習する。

- ・7:3の精神を発揮する。自分の仕事だけでなく他の仕事も手伝えるよう余裕を持って行動したい。
- ・オープン、クローズ作業などの皆がやる業務と、広報、データ管理などの人それぞれによって異なる業務がある。
- ・チュータリング能力を上げるために、定期トレーニングが行われている。チュータリングをする、という責任感を持つ。
- ・チューター育成の意義を再確認できた。利用者の学習をサポートするという責任感について学べた。

●チューターによるプレゼン②「チュータリングとは（佐事奏実）」

- ・アイスブレイクを大切に、答えに辿り着くヒントを上手に与えるようなTRをしたい。
- ・チュータリングとは、チューターの疑問に対して、一緒に考え、答えを導くための手助けを行うことである。ポイントとして、今日はここまでやりましょうのようにして時間を守る、学生の考えを傾聴するなどが挙げられる。アイスブレイク、問題理解、計画、実行、振り返りという流れがある。質問はyes,noでは答えられないもの、深掘り、勉強に関連がおすすめ。
- ・チュータリングの進め方や流れについて確認することができた。チュータリングの流れや目的、特に気をつけることを学べた。
- ・チュータリングの時に守らないといけないルールやチュータリングの手順について再確認できた。
- ・チュータリングでは答えを教えるのではなく、導くことが大事だと再確認できた。またアイスブレイクでは挨拶→軽い雑談→今日の目標などの進め方がいいとわかった。チューターのどこがわからないのかを理解する
- ・学生の疑問を一緒に考え、答えを導くための手助けを行う。自分が話すより学生の話聞くことが大事。
- ・チュータリングの時に守らないといけないルールやチュータリングの手順について再確認できた。

●今期のMSLCについて（リーダー）

- ・今期のテーマは、引き継ぎ。前期で確認できなかった業務内容をしっかり引き継げるようにする。
- ・継続の方から業務の内容をしっかりと確認していきたい。引き継ぎをしっかりとやります。
- ・リーダーとして、業務や学習支援の進め方、チームの雰囲気作りについて何を大切にしているかを直接共有してもらうことで、私たちは具体的な行動指針や心構えを学ぶことができました。
- ・今後のMSLCの課題について考えることができた。2025年後期の活動内容について理解できた。
- ・シフトや自分一人で業務が出来るように頑張ります。情報共有をしっかりとします。

◆9月24日(水)のチューター発表スライドより抜粋（一部修正）

<h4>チューターとは 一事前研修会一</h4> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ① MSLCの活動目標を共通理解する ② ピアチューターとしてのスキル向上を図る ③ 業務が円滑にまわるように、MSLCの講座や連携授業の計画を立てる ④ MSLCメンバー相互の親睦を深める </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「MSLCとは」「TRとは」 ・前期の反省と今期の活動内容について ・グループワーク形式のTRロールプレイ </div>	<h4>MSLCの基本理念</h4> <p>【基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 優しさ・笑顔・努力を大事にする学びの空間 2. 学生の数理能力の向上と自主学習の促進を目的とした学習支援機関 3. ピア・チューターは、寄り添う学習支援を心がけ、向上心を持ち、自己実現を目指す
<h4>MSLCチューターとは</h4> <div style="text-align: center;"> <p>MSLCの目的</p> <p>「数理能力の向上」「自主学習の促進」 自己調整学習の促進へ</p> <p>↓</p> <p>目標達成のための3つのMSLC業務</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 連携授業の支援 2. 在席対応講座 3. 異動対応支援 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>MSLC運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 案件・OPEN・CLOSE 2. データ管理(利用履歴統計) 3. 広報(月別MSLC-Instal) 4. 新規チューター育成 5. リーダー業務 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>チューター育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 研修会 2. 定期トレーニングと評価 3. 検定試験の受験 4. 査読等 </div> </div> </div>	<h4>チューターの義務と責任</h4> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>義務</p> <p>MSLCの一員としての自覚を持ち、協調を心がける 専門性を身に付けるためのチューター育成プログラムを受ける</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>責任</p> <p>「チューターは利用者の学習をサポートする」責任感とそれ相応の能力 自分の置かれる立場を十分に理解・自覚し自らの学力向上に邁進する 他の模範となる（言葉遣い、報道相、単位を落とさない等）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 自己評価、相互評価、教職員評価</p> </div>

図1 プレゼンテーション①「チューターとは」発表者：田浦和珠

7 : 3の精神について		(2)チュータリングのポイント	
7 : 3の精神		<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間を守る・正直・情熱・真剣さ・傾聴 ○ 可動性・良い質問・独立性の尊重・秘密保持etc 	
自班の仕事 7割 業務 7割 間く 7割	他班の仕事 3割 ボランティア 3割 話す 3割	<ul style="list-style-type: none"> ✕ 教員の代行・外見での能力判断・低空飛行の許容 ✕ デート・1人でTRを占有すること ✕ 答えを教えるだけ(課題の代行) 	
(4)MSLCのチュータリングスキル		(5)全体のまとめ	
①伝える力	➡ 考えを整理、尊重・共感・臨機応変に	TR (チュータリング)	
②信頼関係	➡ 寄り添い・対等な姿勢、7isア'レケン'	チューティー (チューターから学習支援を受ける学生) の疑問や質問に対して一緒に考え、答えを導くための手助けを行うこと	
③観察・洞察力	➡ 躓く部分を理解、時間配分、振り返り	①問題の理解	➡ ②計画を立て
④質問・対応力	➡ 下位目標の確認・復習型質問		「関連付け」
⑤数理能力	➡ 問題への理解、下位目標を知っておく	③方略・実行	➡ ④振り返り

図2 プレゼンテーション②「チュータリングとは」 発表者：佐事奏美

◆研修会の様子



写真1 リーダー・副リーダーからの説明



写真2 MSLC副センター長より新規チューター紹介



写真3 研修会の集合写真 (チューター1名休み)

報告 2025年10月6日(月) 数理学習センター長 高安 美智子